

<申請時> カーボンニュートラルなどの地域課題解決促進事業 2025年4月~2029年2月実施予定 ((公財)ひょうご産業活性化センター)

<事業計画申請時>

✓ 地域課題解決の取組や複数の地域支援機関の相互連携強化等の取組に該当する場合は、チェック してください。

【課題】

- ・カーボンニュートラルに対応できていない企業はサプライチェーンからの排除や人材確保にリスク
- ・県内中小企業の半数が脱炭素化に未着手で、その割合は従業員数が少ない企業ほど高い
- ・ノウハウ・専門知識の不足(42%)、コスト転嫁の困難さ(36%)、人材不足(34%)が主な障壁

【目的】

カーボンニュートラルなど持続可能な社会の実現に向けて取り組む中小企業に対し、地域支援機関との連携強化を図りながら支援を実施し、中小企業の更なる成長の実現と地域経済の活性化につなげる。

【県の施策との連携・親和性】

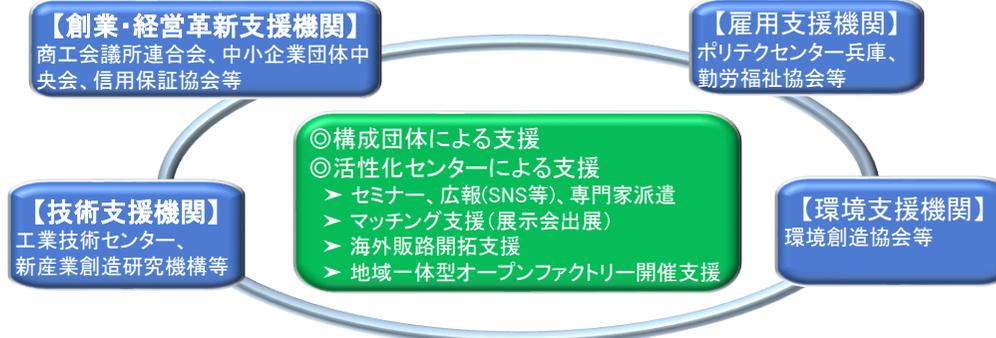
県では、中小企業の脱炭素化支援など、社会的課題の解決と持続可能な社会づくりの両立を加速させる兵庫サステナブル事業を重点施策として推進している。県と連携を図りながら、兵庫県が掲げる「2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ」の社会を目指す。

【本事業の内容】 【カーボンニュートラル等支援事業】

1 プラットフォームの運営

持続可能な社会の実現をめざすため、地域支援機関との相互連携強化等を図るプラットフォームを運営する。

- ・全体会議、実務者会議
- ・ポータルサイトによる各地域支援機関の支援情報の一元的発信



2 普及啓発

- ・脱炭素経営に向けた取組への機運醸成を図るためのセミナー開催
- ・先進事例収集のためのアンケート実施
- ・先進事例や地域支援機関の支援策を広報誌やSNS等各媒体を活用し提供

3 専門家派遣

カーボンニュートラルへの取組についての意欲調査を実施し、その結果を踏まえ伴走支援として専門家を派遣し、助言やサポートを行う。

4 販路開拓支援

脱炭素経営をはじめSDGsに取り組む中小企業を対象に、国内、海外市場への販路開拓について支援する。

(1) 国内販路開拓

首都圏などで開催される展示会に製品や技術、サービス等を出展し、発注企業とのマッチング等を支援する。

(2) 海外販路開拓

海外ビジネスの準備段階である実現可能性調査に必要な経費及び年々規模を拡大している越境ECに必要な経費を助成する。

5 地域一体型オープンファクトリー開催支援

中小企業のカーボンニュートラルなどの取組を可視化するため、地域支援機関と連携し、面的に展開する地域一体型オープンファクトリーの実施に向けた支援を行う。

【結果ならびに成果の目標】

- ・セミナー受講者数 100社/年
- ・専門家派遣企業数 20社/年
- ・県外展示会出展社数 20社/年
- ・マッチング件数 64件/年
- ・海外販路開拓支援件数 7件/年
- ・地域一体型オープンファクトリー来場者数 ⑦50人⑧100人⑨150人⑩200人

【波及効果の目標】

- ・脱炭素化に取り組む県内中小企業の増加
- ・先進的事例の発掘・PRによる県内産業部門での脱炭素経営の浸透
- ・企業の付加価値向上、販路拡大や価格転嫁につなげる

【将来の支援目標】

県内の温室効果ガス排出量の削減を図り、2050年のカーボンニュートラルを実現